

月刊しばうら

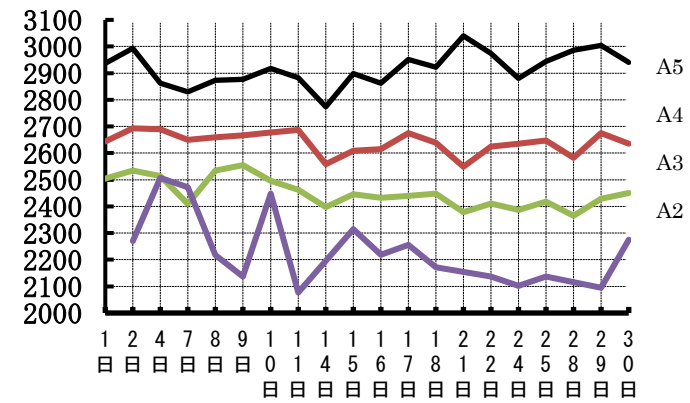
2016年12月号

大動物事業部

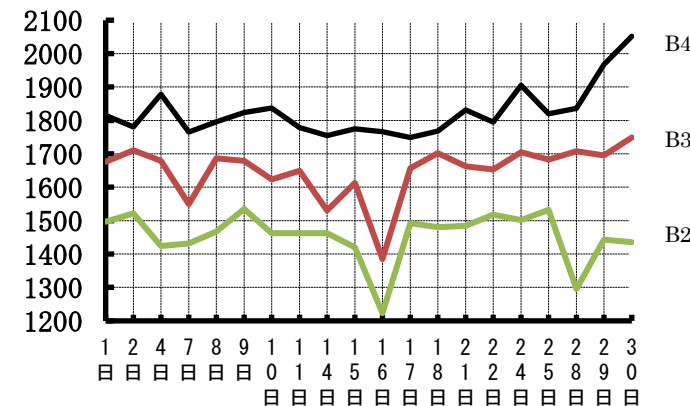
<11月の相場動向>

11月の牛枝肉相場は、和牛去勢A5が前月比3円高の2,915円(前年同月比151円高)、同A4が41円高の2,648円(同64円高)、同A3が9円高の2,456円(同5円高)、同A2が33円安の2,221円(同103円安)と高値基調でしっかりと相場展開。一方、交雑種は前年・前月比で割れとなった。和牛は相場高を背景に末端需要が低迷している中、供給不足感などから強もちあい。交雑種は和牛に比べ供給頭数がいくらか潤沢なこともあり、仕上がりや歩留りの良し悪しで価格差が大きく、弱もちあいの相場展開となった。

和牛去勢 日別相場表(11月)



交雑去勢 日別相場表(11月)



和牛去勢月平均	前年同月比	前月比
A5 2,915円	105.5%	100.1%
A4 2,648円	102.5%	101.6%
A3 2,456円	100.2%	100.4%
A2 2,221円	95.6%	98.5%
交雑去勢月平均	前年同月比	前月比
B4 1,805円	96.4%	99.0%
B3 1,656円	94.5%	98.5%
B2 1,465円	90.9%	96.8%
乳牛去勢月平均	前年同月比	前月比
B3 1,226円		
B2 1,090円		97.1%

<12月の全国出荷頭数予測>

食肉流通統計による10月の全国の成牛と畜頭数は前年同月比7.2%減の8万7,955頭となり、内訳をみると和牛は11.8%減の3万6,097頭、交雑種は2.3%増の1万9,266頭、乳用種は7.1%減の3万1,660頭で、和牛、乳用種は今後も減少傾向が続く見通し。

農畜産業振興機構による12月の出荷予測頭数は、前年比1.2%減の10万1,000頭と予測している。品種別にみると和牛は4.8%減の4万6,200頭、交雑種は12.1%増の2万2,600頭、乳用種は4.4%減の3万600頭としている。また、平成28年10月～平成29年3月までの牛のと畜頭数は全品種で前年同期比約1.0%減と見込んでいる。和牛は繁殖基盤の縮小に伴う出生頭数の減少により約5%減、交雑種は酪農家における乳用種の黒毛和種交配率の上昇により増加に転じ約10%増、乳用種は離農などにより生乳生産基盤が縮小しているほか、黒毛交配率上昇の影響を受け約3%減を見込んでいる。

東京食肉市場の12月のと畜頭数は8,200頭を予定している。

<12月の牛枝肉相場見通し>

年末年始商戦が本格的に動き出す時期で、今年は問屋の抱える在庫が少ないこともあり、和牛、交雑牛の3・4等級を中心に枝肉相場は高値基調で推移することが予測される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,950～3,050	B4	1,850～1,950
A4	2,700～2,800	B3	1,700～1,800
A3	2,500～2,550	B2	1,450～1,500
A2	2,200～2,300		
乳牛去勢			
B3	1,100～1,200		
B2	1,000～1,100		

<12月の牛肉輸入量予測>

財務省の貿易統計によると、10月の輸入牛肉通関量は、前年同月比0.4%減の4万1,281tと前年をやや下回ったものの、ほぼ前年並みで、チルドは7.7%減、フローズンは5.7%増となっている。

農畜産業振興機構の予測による12月の牛肉輸入数量は、前年比10.7%増の4万1,000tと予測している。チルドは出荷頭数の減少により豪州産の減少が見込まれる一方で、米国産は生産量回復に伴い輸入量の増加が見込まれ、1万9,800tと予測。フローズンは、チルド同様、豪州産の減少、米国産の増加と前年をわずかに上回る2万2,000t前後と予測している。

輸入牛肉通関量		10月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	7,767	11,058	70.2%
	米国	8,831	7,129	123.9%
	その他	914	788	116.0%
	合計	17,512	18,975	92.3%
フローズン	豪州	13,667	14,225	96.1%
	米国	7,351	6,190	118.8%
	その他	2,751	2,065	133.2%
	合計	23,769	22,480	105.7%

単位：t

出典：食肉速報

小動物事業部

食肉流通統計によると、10月の全国と畜頭数は136万800頭(前年同月比94.3%)となり前年より減少した。

また、10月分の豚肉通関実績は、総量で6万9,843t(前年同月比92.0%)と前年より下回った。うちチルドが2万8,590t(同90.5%)で内訳は、米国が1万5,877t(同86.5%)、カナダは1万1,716t(同97.0%)、メキシコが994t(同88.4%)と減少。フローズンは4万1,253t(同93.2%)と前年を下回り、デンマークが1万86t(同90.6%)、メキシコが5,559t(同96.8%)、米国が5,147t(同107.2%)、カナダが4,000t(同102.9%)となった。

<11月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	66,200	537	522	654
2日	71,400	548	512	820
4日	73,300	529	492	1049
7日	65,100	506	478	908
8日	68,300	502	470	1123
9日	66,700	494	467	704

上旬の全国と畜頭数は1日あたり6万8,500頭と前年並みの頭数であった。当市場においては平均876頭と前年を下回る上場頭数であった。

11月に入っても全国頭数はさほど増えてこなかった。パーツ動向は先月からの鍋物需要でバラの引き合いが強く、肩ロース・ロースの荷動きも悪くない。スソ物の需要も堅調であったが、当市場の上物価格は537～494円へ、中物522～467円へと徐々に下げに向かった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
10日	68,000	498	470	944
11日	69,000	515	484	1000
14日	64,700	517	494	766
15日	68,400	531	505	887
16日	67,400	531	498	686
17日	69,300	501	481	968
18日	70,300	476	461	1049

中旬の全国と畜頭数は1日あたり6万8,100頭と前年を上回り、当市場は1日平均900頭レベルとなった。

輸入物の冷凍原料の年内手当がほぼ終了したと思われる中、国産・輸入ともにバラの引き合いは依然として強く肩ロース・スソ物も堅調。一方、ロース・ヒレの高級部位の荷動きが鈍ってきた。野菜価格高騰の影響もあり末端消費は振るわなかった。

当市場の上物平均価格は510円。中物平均484円と上旬と比べて若干の弱含みとなった。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
21日	70,000	474	447	857
22日	75,400	491	464	1272
24日	72,300	483	465	1002
25日	70,100	494	481	1059
28日	67,700	518	508	701
29日	70,500	536	516	965
30日	67,500	542	515	696

下旬の全国と畜頭数は、平均7万500頭と前年を上回ったが、当市場の上場頭数は平均935頭となった。

23日が祝日ということもあり7万頭を超える日が続いたが、本格的に全国頭数が増えてきた感じではなかった。

引き続きバラと肩ロースの引き合いは強く価格も徐々に上げてきた。一方、輸入物はタイトであったデンマーク産の状況が解消されてきて、市中アイテムは出揃った感がでてきた。

当市場の上物価格は474～542円。中物447～515円と徐々に上昇した。

<12月の豚枝肉相場見通し>

農水省による12月の全国と畜頭数は、151万1,000頭(前年同月比102.0%)と予測しており、一日当たりの頭数は約7万2,000頭である。当市場の12月の集荷予定頭数は1万8,000頭となっており、一日当たりでは約900頭の見込みである。

また、農畜産業振興機構による12月分の豚肉輸入見込数量は、総量で7万1,600t(前年同月比105.7%)の予測となっている。内訳はチルドが2万9,300t(同99.7%)、フローズンは4万2,300t(同110.4%)の予測である。

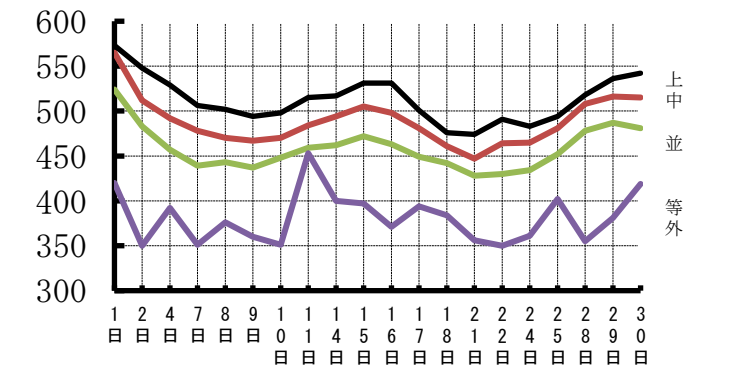
また9月における豚肉推定在庫量は、国産品が1万7,578t(前年同月比115.1%)、輸入品は15万1,802t(同98.3%)となり合計16万9,380t(同99.8%)となった。推定出回り量は15万2,287t(前年比105.1%)で前年を上回った。うち国産品は7万3,029t(同99.4%)、輸入品は7万9,259t(同99.5%)であった。国内生産量は7万1,438t(同111.0%)と前年を上回った。

トランプショックをきっかけに円高に歯止めがかかり、日経平均株価は上昇傾向。来年以降は本格的にワールドカップ・オリンピックに向けた実需が生まれ景気が上向していくことが予測できる。いわゆる好景気ムードを背景に消費においては依然として「低価格指向」が叫ばれている。

いよいよ消費が最も活気づく12月を向かえ、低価格指向も一時的に弱まる。全国と畜頭数がこのままボリューム感のないまま終始する可能性もあり、来年以降の景気動向を勘案すると極端な安値相場は考えにくい。

よって、当市場の12月・上物平均価格は535円。中物505円と予測する。

豚 日別相場表(11月)



出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL <http://www.tmmc.co.jp/>